

## 令和5年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

### 恵那市青少年育成市民会議

#### ■総会・少年の主張大会（6月10日）

総会記念行事として恵那市少年の主張大会を開催。最優秀賞の明智中学校3年生・伊藤百音さんを始め、市内の中学生合計10人が堂々とした発表を披露した。

少年の主張大会の記録集『立志の春』を3月に発行。新中学3年生が、令和6年度少年の主張大会に応募する際の教材となるように配布する予定。

#### ■少年（補導）センター指導員研修会（7月12日）

岐阜県警察本部生活安全部少年課少年育成支援官の田中聡さんにお越しいただき、「子どもたちに関わる現場から」と題した講演をしていただいた。管内の青少年の非行・被害の現状やインターネットトラブルの恐ろしさを話していただき、出席した少年センター指導員たちは感銘を受けたようで、深くうなずいたり、メモを取ったりしながら聞き入っていた。大変有意義な研修会となった。



#### ■見守りパトロール（9月23日）

恵那駅周辺で開催された2023 E N Aみのじのみのり祭に合わせ、少年（補導）センター指導員が見守りパトロールを実施。午後7時半から約1時間かけて夜間の街中を巡回し、見掛けた青少年に声掛けを行った。防犯意識の醸成につながったという手ごたえを感じた。



#### ■秋のこどもまんなか月間 街頭啓発活動（11月11日）

市内の大型スーパーマーケットなどの出入口を借り啓発活動を開催。参加者は、少年（補導）センター指導員である恵那保護区保護司会や学校教諭、PTA役員、有志の市内高校生ボランティアなど計42人。月間の趣旨をPRしながら、青少年支援の啓発チラシが入ったエコバッグを配布。地域への感謝を込めて、近隣の歩道などのごみ拾いも実施。



■自治会青少年育成推進員研修会（11月7日）

130人が参加。第一部は、落語家の笑福亭松枝氏による「子から教わる親のあり方」と題した講演会。子どもとどう関わったらよいか、どんな言葉を掛けたらよいかなど、親にとってヒントを得られる内容であった。第二部では地域の実践発表が行われ、中野方町青少年育成町民会議と山岡町青少年育成町民会議がそれぞれ地域独自の取り組みを発表した。

■広報紙『ゆう‘sねっとENA』の発行

7月、10月、3月に発行。青少年育成市民会議の活動紹介、インターネットトラブルの回避啓発、相談窓口の紹介など、青少年やその保護者の興味を引く内容を掲載。市内全域に回覧した他、市内全小中学校に配布し周知した。